

新幹線高速物流検討協議会

■取組の背景

- 鹿児島県産水産物の県外出荷先は全国に渡り、トラックや航空輸送で出荷が行われている。しかし、従来の流通においては、長時間輸送による鮮度の低下、トラックドライバー不足、航空貨物供給量の縮小等、多くの課題に直面していた。

■取組の目的

- ICTシステムと連携した新幹線物流の構築
- 消費者ニーズに対応した販売による水産物の高付加価値化

■協議会の構成員と役割

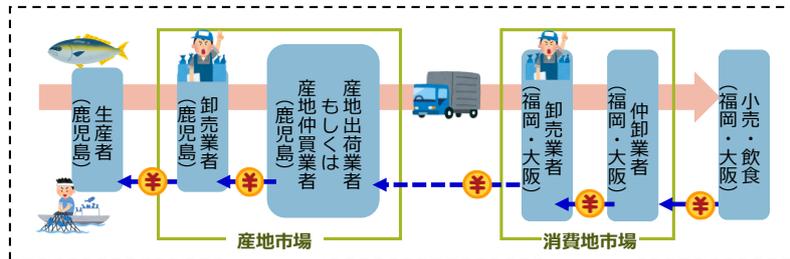
	段階	名称	役割
事業実施者	生産	垂水市漁業協同組合、鹿屋市漁業協同組合	・水産物の生産
	生産	株式会社エフスクリエイト	・養殖魚の生産
	加工・流通	山美水産有限会社	・対象水産物の買い付け、発送
	輸送	九州旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社	・新幹線を用いた商品輸送
	輸送	JR九州商事株式会社	・販路構築、荷役・輸送手配
	輸送	株式会社ジェイアール西日本マルニックス	・荷役・輸送手配、商品のラストワンマイル輸送
	プロモーション	JR九州エージェンシー株式会社	・消費者向けプロモーションの規格・実施
	販売	JR九州フードサービス株式会社、株式会社ホテルグランヴィア大阪、株式会社サン・ダイコー、株式会社三井物産	・商品販売
	統括	鹿児島県	・事業全体の運営支援

■取組内容

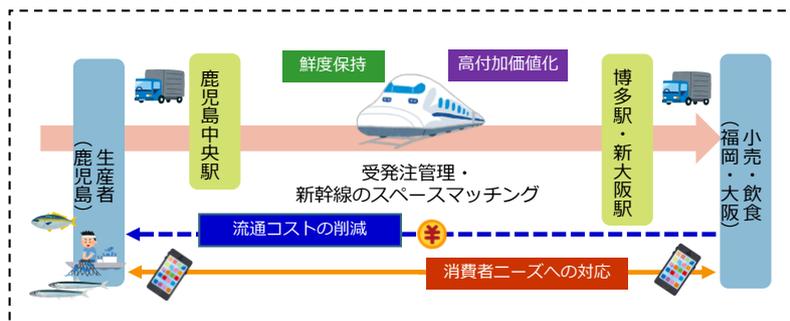
生産	◆ICTシステムにおける水産物の販売に向けた検討 ✓ 商品として販売する水産物の選定 > 関係者間で協議を行い、旬や魚を確保できるかどうかを踏まえ、商品として販売する水産物を選定する。 ✓ 商品の出荷フローの検討 > 商品の仕入れから梱包、鹿児島中央駅までの輸送について、作業フローを検討及び確認
	◆新幹線による大口高速輸送 ✓ 即日出荷即日配送の実現 > 新幹線を用いた輸送によって、朝獲れの高鮮度な水産物を当日中に顧客へ配送することで、付加価値向上を図る ✓ 柔軟な発送時間の実現 > 1日に複数の便数がある新幹線による輸送で、柔軟な発送時間を実現
販売	◆産地と消費者をつなぐ受発注システムの構築 ✓ 受発注用アプリの開発 > 産地と消費者を直接つなぐ受発注システムを構築し、消費者ニーズに合った商品展開・販売を図る ✓ 中間物流コストの削減 > 産地と消費者を直接つなぐことで、通常の物流で発生している中間物流コストを軽減し、生産者の利益拡大を図る

新幹線による朝獲れ水産物の高速輸送

■取組実施前の状況



■本取組で構築したバリューチェーン



■取組の現状と今後の展望

- 博多駅及び新大阪駅を拠点として、中価格帯の飲食店向けに販売を開始。
- 商品として掲載していた魚が水揚げされずキャンセルになったのは1件のみで、その他は注文通りの発送を実現。
- 今後も販売スキームの検討・改善を続けながら、取組を継続。

★本取組によって得られたバリュー★

課題解決（物流面）

新幹線の荷室を活用した水産物の高速輸送

システム構築

生産者と消費者をつなぐ受発注アプリの開発

付加価値向上

朝獲れ水産物の即日配送による付加価値向上